

arrowhead

～次世代売買システム～

(株)東京証券取引所

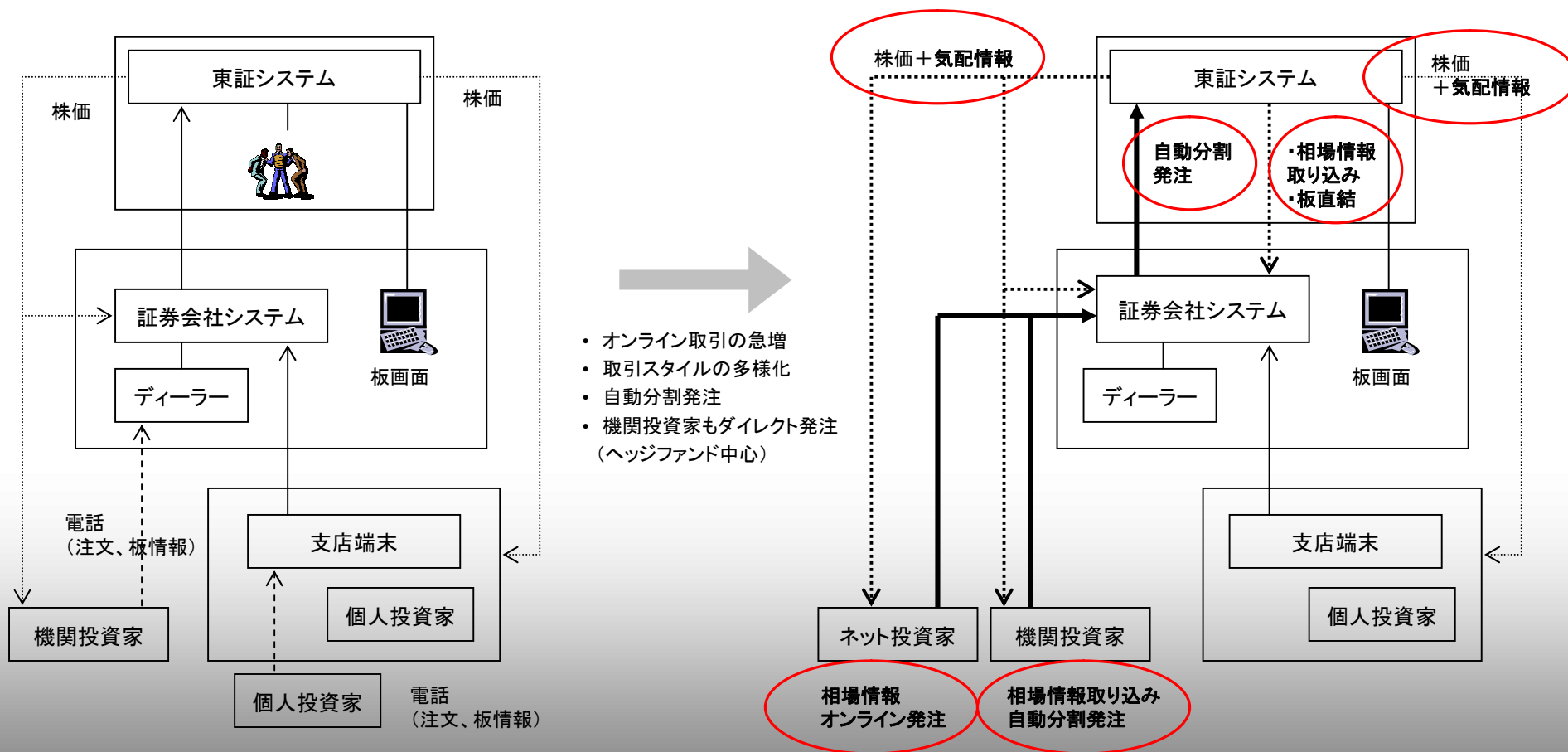
目次

1. はじめに
2. arrowheadの概要
3. 売買制度の変更
4. 市場情報の拡充
5. 発注時の留意点
6. おわりに



1. はじめに～市場参加者の発注行動の変化～

- 個人投資家・・・リアルタイムの相場情報を見ながら迅速に取引が行えることから、インターネット取引のウェイトが高まり、注文件数は大幅に増加。
- 機関投資家・証券会社・・・大口バスケット取引、VWAP取引、裁定取引等、取引スタイルが多様化している。これら取引はリアルタイムの相場情報をシステムに取り込み、一定のプログラムで自動分割発注が行われるのが主流。

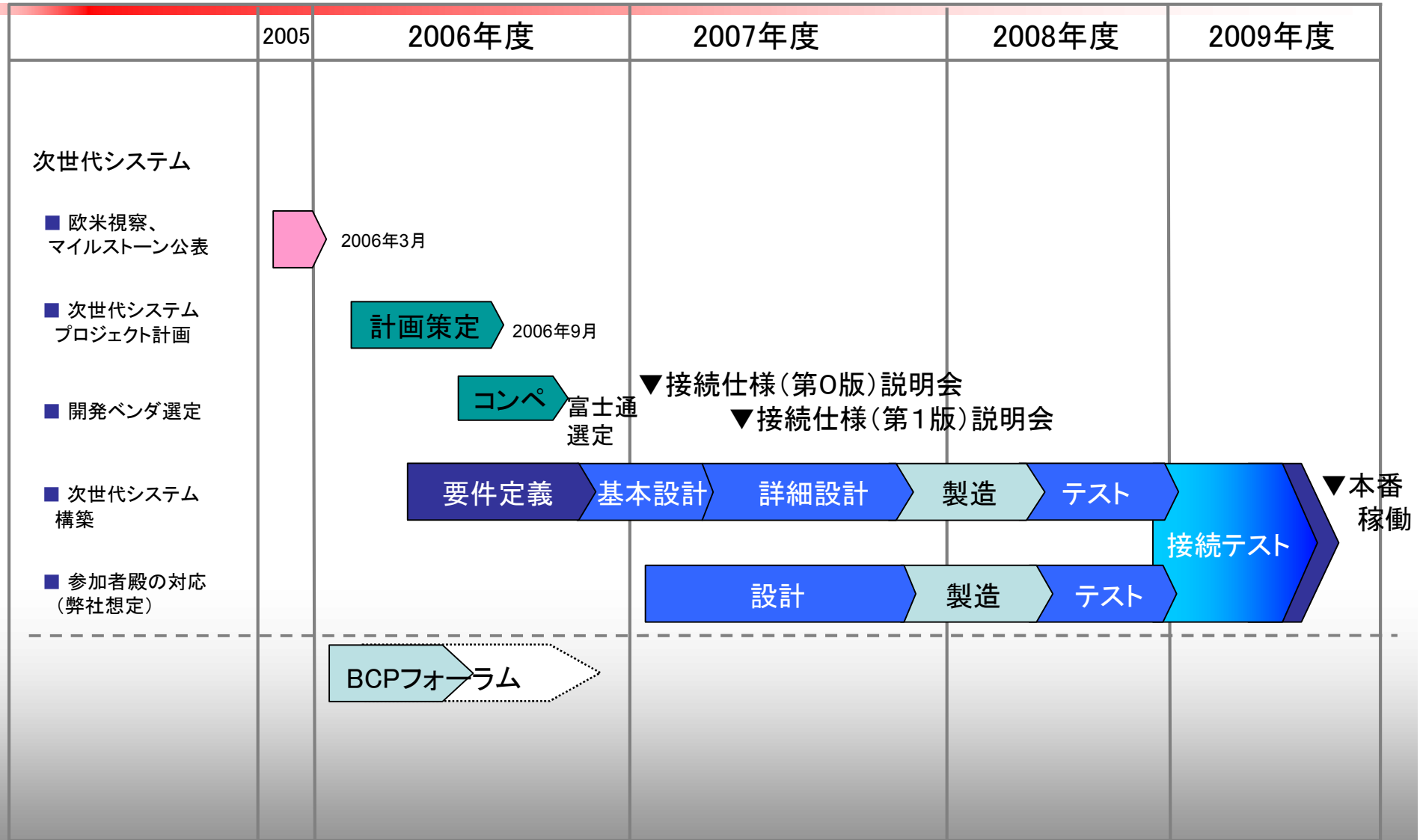


2. arrowheadの概要～arrowheadとは～

» arrowheadとは

- 2010年1月に稼働予定の次世代株式売買システムの呼称です。
- 取扱い商品は全ての現物(株式・CB)にかかるオークション取引です。
- 特に、注文応答時間の高速性と注文、約定、注文板などの取引情報をメモリ上で三重化して保護する信頼性とを両立している点で、世界最高水準の取引所システムといえます。

2. arrowheadの概要～開発スケジュール～



2. arrowheadの概要～基本コンセプト～

海外調査も踏まえ、arrowhead構築の基本的なコンセプトを取りまとめ、提示

安全性／ 拡張性	<ul style="list-style-type: none"> ◆あらかじめ定めた拡張基準を超えた場合、1週間程度以下で対応を可能とする。 〔拡張基準(想定)〕 分間注文受付件数の実績ピーク値が、分間注文受付可能件数(=システム限界値)の半分の件数を超えた場合 =分間ピーク件数の2倍のキャパシティを用意
高速性	<ul style="list-style-type: none"> ◆2ミリ秒の注文応答時間を実現 ◆2.5ミリ秒の情報配信時間を実現
柔軟性	<ul style="list-style-type: none"> ◆多様な商品や取引ルールの追加、変更に対応可能とする。 ◆機能のパラメータ化、アタッチメント型業務ロジック
堅牢性	<ul style="list-style-type: none"> ◆最新技術を駆使した高信頼システムの構築 ◆セカンダリサイト(バックアップセンタ)の構築 24時間以内復旧
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報配信機能強化 ◆システム運用堅確化 ◆セキュリティ強化